

文献 32

Wikstrom, Erik A; McKeon, Patrick O. Predicting balance improvements following stars treatments in chronic ankle instability participants. *Journal of science and medicine in sport*. 2017; 20(4): 356-361.

1. 目的

慢性足関節不安定性患者における姿勢制御改善の因子を同定する。

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 二次分析

3. セッティング

記載なし

4. 参加者

足関節不安定性があると自己申告のある 59 名

5. 介入

足関節モビライゼーション(20名)、足底マッサージ(19名)、下腿三頭筋ストレッチ(20名)に分けて、2週間のうち5分のセッションを合計6回行う形で実施した。

6. 主なアウトカム評価項目

片側バランステスト(SLBT ; Single limb balance test)

7. 主な結果

片側バランステストで 3 回以上のエラーがあった参加者は、足関節モビライゼーションセッション後に 73%の確率でバランスが改善された。自己申告で両下肢機能差が 16.07%未満で 2.5 回以上のエラーがあった参加者は、足底マッサージセッション後に 99%の確率でバランスが改善された。11 回以上の足関節捻挫をした参加者で下腿三頭筋ストレッチセッション後に 94%の確率でバランスが改善された。

8. 結論

慢性足関節不安定性患者を治療する際、治療指針として利用される可能性がある。

9. 論文中的安全性評価

記載なし

10. Abstractor のコメント

本研究は足関節モビライゼーション、足底マッサージ、下腿三頭筋のストレッチを行った後の慢性足関節不安定性患者のバランス改善のための予備調査として実施された。治療効果を数値化し適切な治療を導くための研究として大変興味深い。本文中にもあるが、各グループでのサンプル数が少ないことは結果における解釈について注意深く考えねばならない。今後における基礎的報告として考えられ、今後の研究に期待したい。

11. Abstractor and date

鳥海 崇 2021. 2. 14